

合同シンポジウム開催報告	1
好評です!研究支援員制度	1
両立支援ガイドブック	1
女性研究者フォーラム報告	1
アンケート報告	2
第5回女性研究者インタビュー	3
ワーク・ライフ・バランス インタビュー	4
第5回理工学部女子会	4

弘前大学男女共同参画推進室

さんかくつうしん

News Letter vol.8

つがるネッサンス!

平成24年度北東北国立3大学連携推進会議
男女共同参画合同シンポジウムさらなる連携に向けて
「北東北地域大学間連携による男女共同参画の推進に向けて」が開催されました

さる12月21日、弘前大学岩木ホールにおいて、平成24年度北東北国立3大学連携推進会議 男女共同参画合同シンポジウムが開催され、関係者約50人が参加しました。

後半のパネルディスカッション「北東北地域の男女共同参画の推進に向けて秋田大学、岩手大学、弘前大学のさらなる連携を拓く～共通する取り組みと課題からみえるもの～」では、3大学の男女共同参画推進室長が、各大学の取り組みの紹介の後、「両立支援」「県内連携」「次世代育成」の3つの共通課題について、情報交換・意見交換を行いました。



パネルディスカッションの様子

佐藤 敬学長の開会挨拶後、独立行政法人科学技術振興機構科学技術システム改革事業プログラム主管の山村康子氏が基調講演を行い、女性研究者の現状や課題を述べ諸大学の取り組みを紹介しました。

基調講演講師
山村 康子氏

最後に、大河原 隆理事より「弘前宣言」が採択され、3大学の今後のさらなる連携を確認して全日程を終了しました。

2012 Hirosaki University
Research Support System

好評です!「研究支援員制度」

男女共同参画推進室では、研究者の子育て・介護と仕事の両立を図るため、平成24年度に「研究支援員制度」をスタートしました。これまでに本学5人の理系女性研究者がこの制度を利用し、9人の大学院生・学部生が、実験やデータ入力などを行う支援員として活躍しています。

研究者のワーク・ライフ・バランス推進はもとより、支援員からも「スキルアップにつながる」「違う分野の研究に携わることで新しい視点を得られる」などの声が寄せられており、この取り組みが本学の研究活動のさらなる推進につながると期待されます。

仕事と家庭の両立支援ガイドブック



2013年3月、男女共同参画推進室は、本学で働く教職員の仕事と家庭の両立支援ガイドブック「さがす!みつける!あなたのワーク・ライフ・バランス～仕事と家庭の両立を応援します～」を発行します。

弘前大学で活躍する研究者のインタビューをはじめ、働きながらの子育てで「こまった」時に役立つ市内の支援情報、いざという時のために知っておきたい介護保険の知識、そして、ワーク・ライフ・バランスに関する学内制度や科研費Q&Aなど興味深い情報が満載の一冊です。弘前大学周辺の育児・介護支援施設のマップもついています。

どうぞお手元に置いてお役立て下さい。

Forum

第10回女性研究者フォーラム



2012年9月13日(木)
医学研究科1階大会議室
参加人数:20名
(託児3名)

本町地区で働く女性医師を主な対象とした意見交換会を行いました。

参加した方々からは、バランスをとりながら仕事・子育て・生活を両立させることの難しさや課題が語られ、とくに病児保育の要望があげられました。

男女共同参画推進室では、この要望をとりあげ、2013年2月に病児保育のニーズ調査を行いました。

第11回女性研究者フォーラム



2012年9月20日(木)
総合教育棟共用会議室
参加人数:18名

「学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム」参加機関の女性研究者をお迎えして「大学も超えた」交流を行いました。「女性研究者が考えるワーク・ライフ・バランス」を話題に、各々の機関での慣習や制度、地域の情報などを共有しました。

平成23年度「各部局における男女共同参画の取り組み」に関する調査

本学では、すべての教職員と学生等が教育・研究・就労等と、家事・育児・地域の諸活動等への参加とを両立できる（これを“ワーク・ライフ・バランス”という）よう、環境整備や支援等を積極的に進めることにしています。そこで、それらをすすめるために各部局等における仕事の効率化や会議の開催時刻等の適正化に向けた取り組み状況を調査しました。本学の18部局を対象に調査を行い、16部局から回答がありました。ここに、その結果の一部をご紹介します。

仕事を効率化するための取り組みを行っていますか？

何らかの取り組みを行っているのは11部局、行っていないのは5部局でした。効率化のための具体的な取り組みは、「コンピューターの活用」が多くみられました。

<主な具体例>

- ・データ管理やデータ共有を行い、データのやりとりを簡素にしている。
- ・「スケジュール管理ソフト」などコンピュータシステムを活用している。
- ・ノー残業デーを設け、優先順位を意識して業務を行っている。
- ・業務量の平準化を行っている。
- ・事前打合せにより業務の効率化を図っている。

会議の開始時刻と終了時刻を明示していますか？

会議の開始時刻と終了時刻を明示しているのは3部局であり、ほとんどの部局では時間の明示はされていませんでした。しかし、仕事を効率化するための工夫として時刻を明示している部局もありました。

男女共同参画に向けた取り組みを行っていますか？

男女共同参画に向けた具体的な取り組みを記載したのは7部局であり、6部局は「特になし」、3部局は無回答でした。

<主な取り組み>

- ・教員公募要領で女性研究者の積極的な採用を明記する。
- ・男女の区別なく仕事に取り組んでいる。
- ・ハラスメント対策のポスターを校舎内の随所に掲示している。
- ・他学部生からのハラスメント相談にも応じている。
- ・男女共同参画推進室が主催する講演等への学部生への参加の推奨と意識啓発を行っている。

各種会議や委員会(以下、会議)の開催時間と回数について

- 全ての会議を勤務時間内に開催しているのは7部局
 - ・その回数は1回程度/月と答えたのは4部局
 - ・残りの3部局は3～5回程度/月
 - 勤務時間外にも開催しているのは9部局
 - ・勤務時間内の開催回数と勤務時間外の開催回数は部局によって大きく差がありました。
 - ・会議の開催回数にも、部局による差が多くみられました。
- <例>
- | | | |
|-----|---------|----------|
| A部局 | 勤務時間内開催 | 16～30回/月 |
| | 勤務時間外開催 | 0～5回/月 |
| B部局 | 勤務時間内開催 | 4回/年 |
| | 勤務時間外開催 | 36回/年 |
- 全ての会議等を勤務時間外に開催している部局はありませんでした。

勤務時間外に会議を行わないための工夫をしていますか？

勤務時間外に会議を行わないための工夫は11部局で行われていました。

<主な具体例>

- ・事前都合調べを行い勤務時間内で開催するよう努力している。
- ・年間スケジュールに取り込むことなどで、計画的に会議を開催している。
- ・会議開始時間の周知と終了時間を明示し、勤務時間内で会議が終了するようにしている。
- ・会議成立要件(定足数)を満たした場合は開催する。
- ・定員削減により教職員各個人の業務量が年々増大しているため、今後も会議開催期間の調整は難しくなる一方である。
- ・会議資料を精査している。
- ・議題により紙上開催としている。
- ・日中の早めの時間開始に努める。

さらなる研究、職場環境の整備にむけて

本学男女共同参画推進行動計画(平成21年8月策定)には、「研究、職場環境の整備」に「タイムマネジメントの検討と再編成(公的会議の17:00終了の徹底などを含む会議時間の制限や業務の整理と効率化)」が明記されています。また、現在進行中の事業である文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援モデル育成)「つがルネッサンス!地域でつなぐ女性人才」の達成目標では、「公的会議の午後5時半まで終了や休日業務の削減などによる柔軟なワークプランを提案する。」としています。

男女共同参画推進室では、本学教職員等のワーク・ライフ・バランスの推進や研究者支援には、仕事の効率化や勤務時間内の会議開催等は重要な内容と考えています。この結果を踏まえながら、今後は各部局等とより密接な連携をとりながら、研究、職場環境の整備をすすめていきます。

向こうからくる運命にしなやかに

家族5人で4世帯

2011年の4月に弘前大学に着任し、2年が過ぎようとしています。うちは5人家族が4ヶ所に分かれて生活しています。私は弘前で、夫は三重県で仕事をし、大学生の次男は兵庫県で下宿、そして奈良の自宅に大学院生の長男と高校生の三男が二人で暮らしています。

夫が毎週末、奈良に帰って、家のことや子どもたちのことをフォローしてくれていますが、月曜日から金曜日は掃除を省くためにお風呂はシャワーだけ、洗濯は2回で、何事にも几帳面な兄が自由奔放な弟を叱咤する毎日だとか。驚いたことに、下宿中の次男も含めて子どもたちは全員自炊をします。私が自宅に戻るのには、基本的に「盆と正月」だけです。



教育学部家政教育講座 准教授

安川 あけみ
Akemi YASUKAWA

趣味:家族で旅行。
日本中も地球上もあっちこっちに行きたいです。

リフレッシュ法:
リフレッシュしなければならぬほど行き詰まっ
ていないかもしれません

影響を受けた人:
母親(高校教師)と大学時代の恩師(子ども3人、
姉と同居の女性)

「働き続ける」が「研究者」に結びつきました

奈良女子大学家政学部卒業後、地元の愛知県で4年間高校の家庭科教員をしました。結婚して奈良に戻ることになった時、短大の非常勤講師の職を求めて大学の恩師に相談したところ、「修士号が必要」と言われ進学を決めました。修士号取得後、さらに研究生として大学に籍を置きながら非常勤で勤め始めると、周りが皆、常勤の仕事に就くことを目指す雰囲気があり、もともと研究が大好きだったので、自然に研究者を志すようになっていきました。

その後、大阪教育大学理科教室に正職員として教務職員8年、助手2年半勤め、この間に博士号を取得しました。

専門分野は「界面化学」で、奈良女子大学では被服の洗浄における「ぬれ」、大阪教育大学では「コロイド粒子の合成」が研究テーマです。

私生活では、大学院1年生で長男を、研究生2年目で次男を、大阪教育大学に勤めて3年目に三男を出産しました。いずれも産後1ヶ月で復帰し、子どもは、私の両親が同居して面倒をみてくれました。

目からウロコの「母・単身赴任」

両親の他界後、弘前大学に来る前の8年間は、被服の職を得るためあちこちの大学の非常勤講師をしていました。「常勤」志向はあったものの、近隣ではなかなか職を見つけられません。かと言って、夫と子供3人という状況の中で、「家を離れてまで」という考えは全くありませんでした。ところが、三男が高校1年の8月に、ある学会で大学の先輩に会い、彼女が単身赴任中だと聞いて目からウロコが落ちたのです。子どもたちは大きくなったし、親の介護もありません。「私は外へ出られるんだ」と思いました。そこで、子どもたちに「お母さんの単身赴任ってどう?」と聞いたら、思いのほか軽い調子で「いいよ～」と言ってくれたので、さっそく地域を限定せずに就職先を探し

このコーナーでは、弘前大学で活躍する女性研究者を紹介します。

❏ 始めました。簡単にはいかないと覚悟していましたが、偶然弘前大学で求人があり、幸いにも採用していただきました。タイミングがちょうど合った「ご縁」だなあと感じています。

息子たちは皆「おめでとう」と言ってくれました。今は不便と自由が半分ずつというところでしょうか。ちなみに、夫には面接が決まった時点で初めて状況を「報告」しました。「相談」したら、いい顔をしていないのはわかっていましたから。夫は来月定年退職なので、「じゃあこの先は私が働くわ」と言っています。

タテ割りのワーク・ライフ・バランス

現在とはとにかく思う存分仕事ができ楽しいです。奈良女子大学時代と大阪教育大学時代の研究を結びつけ「高機能微粒子を布につけることによる新素材の開発」を目指すほか、被服の教材研究にも取り組んでいます。

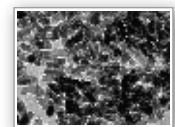
横軸が時間の流れ、縦軸が時間の量で人生のグラフを書くと、仕事と家庭の両立といえば、普通グラフを横に切って、日々仕事と家庭両方のバランスをとることを指すのではないのでしょうか。私の場合は、子育てを両親に任せていた大阪教育大学時代や現在は、時間と労力のほとんどを仕事に費してグラフは仕事一色。一方、非常勤時代は子どもの塾や習い事の送迎もやっていたので家庭色が強い・・・いわば人生のグラフを縦に区切ったワーク・ライフ・バランスと言えるかもしれません。仕事も家庭もとことんやりたかったから、そうなったのだと思います。



限りない可能性を秘めた
マグネシウムアパタイト



魅惑のバリウムアパタイト



愛しのカルシウムアパタイト

これまでも、これからもしなやかに

強制はできませんが、ぜひ多くの女性に仕事を続けてほしいと思います。国立大学の学生さんは、税金を使って勉強させてもらったわけですから、つけた力は社会に還元してもらいたいです。

私自身、両親が共働きで祖母に育てられたのですが、母が働いていることを嫌だと思ったことは一回もなく、むしろ誇らしく思っていました。うちでも子どもたちが「お母さん、もっと家にいて」と言ったことは一度もなく、言葉には出ませんが、母親がこういう仕事をしているのを嫌じゃなさそうなので、それがうちの「答え」かなと思っています。

考え方は人それぞれです。本人が希望して、パートナーが了承して、家族が賛成すれば、いろいろな形があっていいと思います。

これまで、あまり先のことを考えずにやってきました。そういう余裕がなかったし、いつ何が起こるかかわからないから考えても仕方がない、という思いもありました。これからも、向こうからくる運命に臨機応変に対応して、今のまま、しなやかに生きていきたいです。

ワーク・ライフ・バランス インタビュー

子育てや介護などしながら仕事や研究を続けることは難しいと思っ
ていませんか！

職場や家族の協力、同僚の理解、様々な工夫などをしながらワーク
とライフの調和を実現している弘前大学に勤務する方々にインタビ
ューしました。

これから育児あるいは介護などを経験される方や教職員の皆様にご
一読していただき、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて大学
が一丸となって取り組むための機運を醸成するためのものです。

インタビューでは、ワーク・ライフ・バランスの大切さや、職場に
対する考え方、これから体験する方々へのアドバイスなど話されて
います。是非、アクセスして、皆でワーク・ライフ・バランスの必
要性について考える機会としましょう。



■ 出 佳奈子さん
(いで かなこ)
教育学部美術教育講座
教員

ひろだい保育園がキーポイントで
した。
時間の工夫がとっても大事です。



■ 匿名
事務職員

夫婦 2 人の信念から、育児休業中は
両親のサポートを受けず頑張って
いこうと決めていましたが、今では
「何らかの手助けはあったほうが
いい」と思っています。育児サービ
スを受けると、その分気持ちも楽に
なります。子育てをしながらの仕事
は大変ですが、夫婦で協力しながら
毎日頑張っています。



■ 工藤 うみさん
(くどう うみ)
大学院保健学研究科
教員

保育ママにとっても助けられました。
子どもの保育だけでなく、家事や育
児のことや自分が苦しんでいる時
の相談相手にもなってくれました。
相談相手がいるということはとて
も大きなことです。



■ 富澤 登志子さん
(とみさわ としこ)
大学院保健学研究科
健康支援科学領域
健康増進科学分野
教員

復職した後のアイドリング期間が
大切です。
時間の使い方を工夫すると仕事と
育児の両立も大変ではなくなり
ます。出張でも普段の仕事でも、
時間の使い方を工夫すると楽しく
できると思います。どう効率よく
仕事をするのかですね。



■ 匿名
事務職員

時間内に仕事を終わらせる。
なるべく早く保育園に迎えに行く。
家事は手が空いている方がやる。
をモットーとしました。



■ 皆川 智子さん
(みなかわ さとこ)
医学部附属病院皮膚科
医師

仕事と子育ての両立には上司や同
僚の理解が必要です。細い糸は太く
することが出来るが切れてしまっ
た糸はつながらないという。糸を太
くするため、退職後育児の傍ら、勉
強を重ね、復帰を望まれる人材に
なるよう努力しました。息子が大き
くなったとき、小さい時は大変だっ
たが、頑張っておいてよかったと思
えるようにしたい。仕事を抱えて子
育は大変ですが、皮膚科医を長く
続け、いつか、どこかで正規雇
用されることを目指しています。



■ 熊野 真規子さん
(くまの まきこ)
人文学部
コミュニケーション講座
教員

人付き合いが多いので、付き合いを
我慢しすぎるとストレスになります。
介護中の母を連れて人付き合い
したら、周囲は思いの外、好意的に
接してくれました。状況を目に見え
る形で知ってもらい、上手に気分転
換する、どちらも大事です。

インタビューの詳細内容は、ホームページをご覧ください。
<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/interview2/index.html>

第5回理工学部女子会



化学の宝庫 物質創成化学科

未来へつながる研究開発



12月5日に理工学研究科で「女子学生座談会」が開催されま
した。各学科持ち回りで所属する女子学生から学科の魅力
を聞き、その魅力を最大限生かしたHP作成や広報活動
を行い、「理系女子」を増やすことを目的としています。今回
は物質創成化学科に所属する女子学生に集まってもらいま
した。

物質創成化学科では有機化学、無機化学、分析化学および
物理化学に関することを学べます。具体的には最先端機器
を用いた分析手法の習得や、機能性分子および材料の開発、
有機溶媒に変わる万能溶媒等の環境調和型化学などです。
参加してもらった女子学生達は高校時代から化学が好きで、
化学関係の企業への就職や化学の研究者になりたいと志を
もって進学したそうです。

今回は学部3年生4名が参加し、座談会は薬剤に関する研
究ができる講座の話や、通称サンドイッチ化合物のすばら
しさを熱く語るなど話が尽きませんでした。女子が少ない環
境で困ったことは今までになく、むしろ先生や男子が優しく
接してくれ、グループもできず皆と仲良くなれるので、今の
環境は最高とのことでした。今の男子は女子っぽいから、
自分一人で男子と遊びに行っても平気との頼もしい意見もあ
りました。

参加者に弘前駅で起こった人身事故に遭遇した女子学生が
おり、事故の状況を話してくれました。電車の中にも人と
ぶつかる感触が分かるそうです。品川駅での人身事故の
ため、山の手線内回りが使えず、泣きそうになりながら渋谷
から上野に行ったことを、ふと思い出しました。

(理工学研究科 藤寄 里美)

大学生活

将来の夢

弘前大学理工学部
理工学部女子会
★ 気になる!! 理工学部女子会はここにアクセス ★
<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/mirai/list.html>